

《法務実践研究講座》

～本社発信/異なる国・地域毎へのリーガル対応で、未然のトラブル回避策を図る～

本社主導によるグローバルリーガル リスクコントロールへの対応

◆ 開催にあたって

グローバル・ボーダーレスな経営環境においては、リスクをいかに早期に発見し、合理的なマネジメント体制並びに、当該マネジメントを具体的に実践するためのグローバルなリスクマネジメント体制の構築と運用が必要であります。リスクマネジメント活動の全体を総括・統制する責任所轄部門として、本社主導により、的確な指示・命令を出すことが、極めて大切なポイントであります。

そこで本研究会では、最近のグローバルな法務リスクの背景、並びに本社主導によるリスク体制、有効活用を推進してこられた日本企業の事例企業もご紹介させていただき、皆様に効果的な施策を学んでいただくものです。ぜひ、関係各位のご参加をお勧め申し上げます。

- 日 時 ■ 2014年 3月24日(月) 13:00～17:00
- 会 場 ■ 東京 麹町 「企業研究会セミナールーム」 TEL:03-5215-3512
- 講 師 ■

実践解説

J&C ドリーム・アソシエイツ代表
(前 伊藤ハム(株)法務部長)

大澤 頼人氏

事例紹介

プラムフィールドアドバイザー(株)代表取締役 梅原 哲也氏

《詳細は裏面をご覧ください》

●受講料● 1名 <資料代込>

正会員	34,650円 (本体価格33,000円)
一般	37,800円 (本体価格36,000円)

* 会員企業は、こちらでご確認いただけます。
http://www.bri.or.jp
申込書を FAX 又は E-mail でお送り下さい。
受信確認後、受講票・請求書をお送りします。

● 申込書を FAX で送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。

一般社団法人 企業研究会 プロジェクト改革G
担当: 福山 E-mail fukuyama@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2 麹町 31MT ビル 2F
TEL 03-5215-3512 FAX 03-5215-0951

* 後日(開催日1週間～10日前まで)に受講票・請求書をお送りいたします。
* お申込書に記入頂いた個人情報、研究会に関する確認・連絡、及び当会主催のご案内をお送り する際に利用させていただきます。
* 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます
* 事もありますので、何卒、ご了承ください

一般社団法人
B·R·I 企業研究会
Business Research Institute

【申込書】 FAX 03-5215-0951

131738-0905	グローバルリーガルリスク対応	2014.3.24
会社名		
住所	〒 -	
TEL	FAX	
所属 役職	氏名	フリガナ
e-mail		
所属 役職	氏名	フリガナ
e-mail		

* 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより[TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]をご参照下さい。

●プログラム●

実践解説

13:00

『グローバル経営における本社発信：リーガルリスクへの対応』

■ J&C ドリーム・アソシエイツ 代表（前 伊藤ハム(株)法務部長） 大澤 頼人 氏

- はじめに（自己紹介含）
 - ①グローバル経営と法務組織のあり方
 - ②司法制度改革と法務組織のあり方
- リーガルリスクマネジメント
 - ①社内プロジェクトの立ち上げ
 - ②情報の収集と評価
 - ③モニタリングの必要性
- リーガルリスクアセスメント
 - ①蓋然性と重大性の評価
 - ②ビジネスジャッジメントルール
- グローバル経営と現地化とリーガルリスクマネジメント
 - ①グローバル経営を支える法務組織
 - ②法務組織の現地化
 - ③中国、新興国
- 法務組織と法律事務所との連携
 - ①グローバルな内部通報制度
 - ②グローバルなネットワークとコスト
- 法務組織の人材
 - ①ビジネスオリエンテッドとクライアントオリエンテッド
 - ②グローバルなジョブローテーション
 - ③大学での実務家養成コース

リーガルリスクマネジメント（以下「LRM」）は予防法務であると共に事業再編、M&A、研究開発、JVなどの経営戦略の実効性の精度を高める戦略法務でもある。LRMは企業経営のグローバル展開において各国の統治体制、法体制、国民性などの障害に直面する。本社法務組織のマネージメントを通してLRMの現地化と標準化の実践について紹介する。

15:00

(休憩)

事例紹介

15:10

『グローバルコンプライアンスリスクの事例と対応』

■ プラムフィールドアドバイザー(株) 代表取締役 梅原 哲也氏

- コンプライアンス・グローバル体制で問題が発生した体験談
 - ①ローカル問題がグローバル問題に発展し、経営に大きなインパクトがあった事案の体験談
 - ②失敗したこと、成功したこと、苦労話
- タイにおける不正対策への対応例
 - ①某メーカーのタイ拠点で発生した不正対応の体験談
 - ②専門家を使ったアプローチ
- 中国におけるガバナンス問題の体験談
 - ①中国生産拠点で実際に発生した問題のご紹介
 - ②駐在員と現地化の観点からの考査
- 南米におけるコンプライアンス体制構築で直面した壁の紹介
 - ①アジアとはまた違う新興国での事情、直面した問題の体験談
- 事例から感じたこと、今の日本企業の課題
 - ①本社として、どのように動くのが好ましいのか。
- Q&Aセッション

上場企業約40社をクライアントとして持ち、世界90ヶ国でコンプライアンス対策や内部監査、不正対策を行うプラムフィールドアドバイザーで実際に扱った日本企業で発生したリスクや顕在化した問題を紹介することで、今後の参考にしていただければと思います。

17:00